

平成23年度 上島幼稚園 自己評価結果公表シート

1、本園の教育方針・目標

生活体験の中心である「あそび」は心身の調和のとれた発達の基礎を培う学習です。私たちは子どもたちが主体的に遊びを展開し、豊富に様々な体験を積み重ねることを重要と考えています。上島幼稚園は幼稚園教育要領を基に「健康な体」と「豊かな心」を持つ心身ともにバランスのとれた人間としての基礎づくりを目指しています。

- ・健康で明るくたくましい子ども
- ・友だちと仲良く遊べる子ども
- ・心情豊かな子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども

2、本年度の年間目標

年間目標：子どもの発想を引き出そう

年少目標：園生活に慣れ、友達や教師と楽しく遊ぶ。

年中目標：教師や友達の思いに触れ合い、意欲的に楽しく活動する。

年長目標：友達と思いを伝えあいながら、協力して遊びや生活を作り出す。

3、評価項目の取組と評価

※自己評価は6項目に分かれ、各項目の設問を教員が解答しています。

※自己評価の評価ポイントは各項目及び設問<良い：3・普通：2・不十分：1>の平均ポイントです。評価は最高3点～最低1点で記載しています。

※学校関係者評価のポイントは各項目の取組と自己評価の<良い：3・普通：2・不十分：1>の評価です。評価点は評価委員の平均点です。最高3点～最低1点で記載しています。

項目	取組	自己評価	学校関係者評価	学校関係者意見
保育の計画性	園の教育方針・教育目標・年間目標に基づき、教育課程を編成し、年度当初の職員会議にて、共通理解を行う。期案を作成・反省し、保育・教育の実践に取組んでいる。また、園児一人ひとりの年間の個人目標を教師が設定し、子どもの様々な培いへの援助を促進している。	2.2	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの個性などを見て、目標を立てているのは驚くと同時にうれしく思います。 ・一人ひとりの子ども達をしっかり援助していただいています。 ・子どもの個人目標を保護者にもしっかり伝えていただき、家庭でもフォローしていきたい。
保育のあり方 ・ 子どもへの対応	主任者会議、学年会議、職員会議を定期的に行い、教育計画・保育計画を実践する。園児一人ひとりの発達・動向も各会議で報告・検討し、全教員が共通理解のうえ、子どもの実態に合わせた保育・援助を心掛けている。また、特別支援計画を作成し、特別支援児への個別援助（医療機関との連携）を実践している。	2.5	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度用品等の名前書き等は保護者が行うなどして、先生方の雑務を軽減してみたらどうでしょうか。保育に支障が出ないか心配です。
保育者としての能力や良識	園内新任者研修時に就業規則・勤務規律の研修を実施。また、自己評価により保育者としての能力や良識を各教職員が反省し、自己の見直しによる改善努力を行っている。	2.4	2.4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生達が常に自己啓発していることは素晴らしいと思います。
保護者への対応	園の様子の発信として、園便り・学年便り・HPの行事画像の更新等を定期的実施する。また、担任との連絡帳での対応の他、学期毎の個人面談を基本に、保護者の希望により常時面談する機会を設け関わりを深めている。	2.7	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に細かく様子を伝えていただけて、安心でき、助かります。 ・クラス便りがあるといいです。 ・うた、体操、遊びの紹介等、親もわかると一緒に楽しめると思います。 ・学年便りなどをH.P.に載せていただければ、H.P.を見る方が増えると思います。 ・H.P.で使用している写真を新しくして欲しいです。
地域の自然や社会との関わり	就学時に向けた小学校との交流や聾学校訪問を実施。また、地域の幼小中連絡会にて、地域の子育て運動を実施。小学校への参観にて卒園後の成長を確認。	1.9	2.1	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に園外散歩等を行うと、より、季節感や地域を身近に感じることができると思います。

<p>研修と研究</p>	<p>本年度は静岡県私立幼稚園振興協会各種研修会、浜松市私立幼稚園協会教員・実技研修会・共同研究、東海北陸教育大会、特別支援教育、普通救命講習の外部研修に参加。園内研修では運動遊びの研修会の他、1・3・5年目の教員が公開保育を実施。共同研究の協力園として、前年度の研究活動を継続している。</p>	<p>1.8</p>	<p>2.3</p>	<p>特に意見がありませんでした。</p>
--------------	--	------------	------------	-----------------------

4、自己評価のまとめ

<p><反省点・改善点より></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全を一番に考えていきたい。 ・保育に関する知識や技能が増やせるよう、他の職員から積極的に学んだり、研修に参加したりしていきたい。 ・一人ひとりに目を向け、個々の成長や気持ちを知って保育を行っていきたい。 ・担当の行事など、昨年度よりよいものができるよう、改善点を見直し、子どもたちが充実感を感じられる行事にしたい。 ・教師同士コミュニケーションを密に行っていくようにしたい。 ・視野を広くして、臨機応変に動けるようになりたい。 ・全体を見通して、つながりのある保育計画を立てていきたい。 <p><教育活動の新しいアイデア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動週間などの園の取り組みを園便りで保護者に知らせ理解を得る。 ・季節や自然を感じられる活動を取り入れたい。 ・身の回りにある廃材や身近にある遊びを保育の中でもっと多く取り入れるようにしたい。 ・年中で行うお買い物ごっこに、年少が買いに行くなど、他の学年と関わる機会をふやしたい。 <p><評価項目について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の計画性、保育のあり方・子どもへの対応、保育者としての能力や良識、地域の自然や社会との関わり等の項目について、弱冠であるが、昨年度より下がっている。教員自己点検を実施して5年目となり、自己評価が厳しくなっているように感じられた。研修と研究の項目については、特別の時間を設定するだけでなく、日々の保育そのものが研修・研究であるという意識を全教師が持てるように、職場の意識改革が必要である。
--

5、今後の課題と取組み

<p>課題</p>	<p>取組</p>
<p>安全の確保</p>	<p>地震津波の避難方法のマニュアル作成、救急法の講習会の実施、交通安全の徹底</p>
<p>コミュニケーションをとり、高め合う教師集団をつくる。</p>	<p>「上島幼稚園職員の心得」により、共通理解を図る。互いにアドバイスをし合ったり、自分のやっていることを、知らせ合ったりして学び合う。</p>
<p>園の取り組みの情報発信</p>	<p>園の日常・定期点検及び業者による各種点検等園が実施している安全管理の発信・教職員の各種受講研修会の報告をHPで発信し、周知徹底を図る。 研修テーマにそった園での子どもの現れを便りで紹介し、周知徹底を図る。</p>
<p>地域の自然や社会との関わり</p>	<p>本年度お月見の前に「すすき」を子どもたちに見せたり、昆虫を一部の教室で飼育したりする工夫が見られた。本物の自然と触れ合ったり、自然の変化に気付いたりする機会を増やすよう全職員で努力する。 送迎中に出会う地域の人たちと教師が率先して大きな声で挨拶をす</p>